

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 8 例(感染地域:大阪府 4 例*, 宮城県 1 例、中国 1 例、タイ 1 例、パプアニューギニア 1 例)
*うち 3 例は保育施設における集団発生、腸チフス 4 例(感染地域:インド 3 例、疑似症 1 例)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 64 例(うち有症者 38 例、HUS 1 例)[感染地域:国内 63 例、インドネシア 1 例 国内の多い感染地:福島県 9 例*, 福岡県 7 例、鹿児島県 7 例**, 兵庫県 6 例 *すべて第 42 週につづく保育園に関連した集団発生 **うち 4 例は幼稚園に関連した集団発生 年齢群:10 歳未満(36 例)、10 代(7 例)、20 代(4 例)、30 代(4 例)、40 代(6 例)、50 代(3 例)、60 代(3 例)、70 歳以上(1 例) 血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(29 例)、O26 VT1(14 例)、O157 VT2(13 例)、O91 VT1(1 例)、O111 VT1(1 例)、その他/不明(6 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 1 例(感染地域:静岡県)、つつが虫病 1 例(感染地域:福島県)、デング熱 2 例(デング熱 1 例、デング出血熱 1 例、感染地域:ともにフィリピン)、日本紅斑熱 2 例(感染地域:ともに和歌山県)、ブルセラ症 1 例(感染地域:宮城県)、マラリア 1 例(卵形_感染地域:ブルキナファソ)、レジオネラ症 8 例(すべて肺炎型)[年齢群:50 代 2 例、60 代 1 例、70 代 2 例、80 代 3 例 感染地域:北海道 1 例、新潟県 1 例、山梨県 1 例、長野県 1 例、岐阜県 1 例、大阪府 1 例、兵庫県 1 例、福岡県 1 例]、レプトスピラ症 6 例(感染地域:すべて宮城県、感染源:ネズミ 4 例、土壌 1 例、不明 1 例)
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 5 例(腸管アメーバ症 4 例、腸管および腸管外アメーバ症 1 例)[感染地域:国内 4 例、韓国/東南アジア/ヨーロッパ 1 例 感染経路:性的接触 2 例(異性間 1 例、同性間 1 例)、不明 3 例]、クリプトスポリジウム症 1 例(感染地域:国内)、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例(ともに孤発性プリオン病古典型)、後天性免疫不全症候群 6 例(無症候 4 例、AIDS 2 例)[感染地域:すべて国内 感染経路:性的接触 5 例(異性間 1 例、同性間 4 例)、不明 1 例]、ジアルジア症 1 例(感染地域:国内)、梅毒 10 例(早期顕症 I 期 5 例、早期顕症 II 期 2 例、晩期顕症 1 例、無症候 2 例)、破傷風 2 例(50 代 1 例、60 代 1 例)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(0.14)、沖縄県(0.14)、広島県(0.03)が多い。

小児科定点報告疾患:RS ウイルス感染症は 181 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 78%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は 2 週連続して増加し、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では三重県(0.93)、秋田県(0.83)、富山県(0.83)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は 2 週連続して増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では鳥取県(3.3)、北海道(3.1)、福井県(2.7)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 39 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では熊本県(14.2)、鳥取県(13.1)、大分県(11.9)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(1.7)、北海道(1.6)、福井県(1.5)が多い。手足口病の定点当たり報告数は 2 週連続して減少した。都道府県別では山形県(2.9)、富山県(2.0)、長野県(2.0)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は微増し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では富山県(0.69)、山形県(0.67)、宮城県(0.62)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では栃木県(0.09)、千葉県(0.06)、沖縄県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では、山梨県(0.04)、長野県(0.02)、岐阜県(0.02)、千葉県(0.01)、大阪府(0.01)からそれぞれ 1 例ずつの報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第 28 週以降、減少が続いている。都道府県別では宮城県(0.75)、岩手県(0.44)、熊本県(0.23)が多い。麻しんの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では滋賀県(0.09)、奈良県(0.06)、沖縄県(0.03)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(3.8)、長野県(2.6)、島根県(2.4)が多い。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では大阪府(2.8)、沖縄県(2.1)、群馬県(1.9)が多い。

	小児科定点													眼科定点		基幹定点								
	1)	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	2)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	3)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4)	クラミジア肺炎	成人麻しん
(定点当たり)																								
愛媛県		.1	.1	1.2	5.8	.7	.6	.4	1.0			.1	.5		4.0	.5	.3							
近畿	香川県	.1	.0	.5	3.6	.5	.1	.1	.6				.7	.3	1.0									
	徳島県	.0	.1	1.5	4.5	.6	.2	.1	1.1				1.0	.8										
	高知県	.0	.2	1.4	3.0	.9	.5	.1	.5			.1	.9	.7							.4			
全国	.0	.1	.3	1.4	5.9	.8	.8	.3	.6	.0	.0	.1	.0	1.0	.0	.8	.0	.1	.6	.0				
北海道	.0	.1	.6	3.1	2.3	1.5	1.6	.2	.5			.1	1.1	.7						.1				
東北	.0	.1	.3	1.5	3.3	1.1	.9	.4	.5			.3	1.1	.0	.7				.0	.8	.1			
関東	.0	.0	.2	1.5	5.0	.8	.8	.3	.7	.0	.0	.1	.0	.7	.0	1.0		.0	.8					
甲信越北陸	.0	.0	.4	1.9	4.7	.9	1.5	.3	.6	.0	.0	.0	1.9	.6	.1	.1	.5	.0						
東海	.0	.0	.3	1.1	6.3	.7	.5	.4	.6	.0	.0	.1	.0	.9	.3	.0	.7	.0						
近畿	.0	.3	.9	6.4	.7	.6	.2	.6	.0	.0	.0	.0	.9	.4	.0	.1	.8	.0						
中国四国	.0	.1	.3	1.3	6.9	.7	.3	.2	.7			.0	.9	.0	1.3	.0	.2	.0						
九州沖縄	.0	.1	.3	1.1	9.1	.8	.7	.1	.8	.0		.1	.0	1.0	1.0	.0	.1	.4						

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(11月2日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第43週 (2006.10.23 ~ 10.29)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																				
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ボツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症	
第43週報告数	全 国		8	4		64			1				1	2	2		1		2					8	6	5			1	2		6	1			10	2				
	四 国	愛 媛 県																																							
		香 川 県																																							
		徳 島 県																																							
		高 知 県																																							
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道			1		2												1					1																	
		東 北 関 東		1			11							1			1								1												2				
		甲 信 越 北 陸		2	2		2																															1			
		東 海 近 畿					3			1															1		3										2			2	
		中 国 四 国		5	1		17										2									2				1	2				3			4	1		
九 州 沖 縄						6																		1	6		1											1			
週 推 移	全 国		8	4		64			1				1	2	2		1		2				8	6	5			1	2		6	1			10	2					
	42週	1	3			73			4				1	2	1	2							1	8	1	5	3	2		2	1	11	2			6	1		1		
	41週		6			59			1		1					2				2				6		4	6	1	1	2		15	2			5	4		2		
	40週		22	5	1	60			3					2	1	1				1		1		9		3	2	1	1	1	1	8	1	1		2	2				
2006年累積数	全 国	45	411	64	22	3454	57		294	18	19	1	1	182	47	33	7	5		2	54		10	427	20	612	232	135	15	142	92	1065	74	12		511	99		59		
	四 国	愛 媛 県		6	2		16			4				1											2		4	4	1	1	3		6			3	1				
		香 川 県					15			1		3	1												3		3					1	4			11					
		徳 島 県					45			1																	4				1					3	1				
		高 知 県		2	1		3			3							3	1								2	3	1				3			26	1					
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		2	2		73	17		13	17				1					1				2	15		20	4	7	3	7	6	25	1			8	5		2	
		東 北 関 東	1	14			353	2		10		3		104			1		1	4					27		22	19	5		6	4	30		2		33	2	4		
		甲 信 越 北 陸		22	158	37	14	790	15		54		6		1	8	27			1		27		3	126	4	280	53	45	7	38	33	533	37	5		159	29		24	
		東 海 近 畿		5	36	8	3	415	3		34	1	2		4	6	1			4		4		2	68		71	27	15		15	14	128	3	1		57	8		9	
		中 国 四 国		2	114	8	3	550	5		96		4		2	4	6			1	7				68	2	147	66	17	3	21	21	216	20	1		67	8		8	
九 州 沖 縄			4	16	3		355	3		37		3	1	12	1	13	2			3					34		28	24	17	1	19	7	38	4		62	14		3		

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.11.2集計)